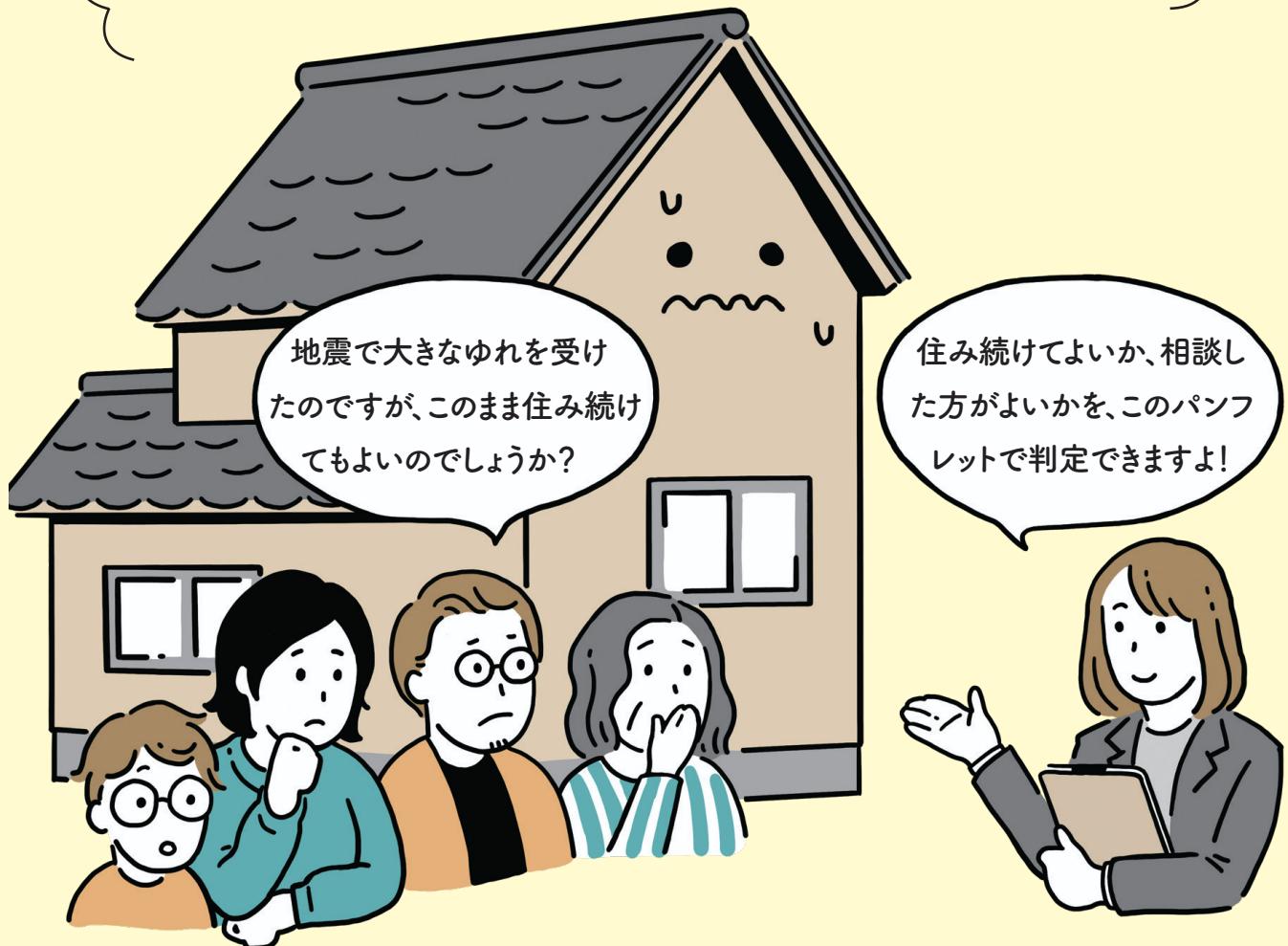


# 木造住宅の地震後の安全チェック

## この家、 住み続けていいのかな？



### 判定できる住まいの要件

このパンフレットで判定できる住まいは、右の4つの要件のすべてに当てはまる木造住宅<sup>※1</sup>です。

要件に当てはまらない場合で住み続けることに不安がある場合には、お住まいの市町村や専門家（4ページ）へご相談ください。

※1 店舗併用住宅を含みます。軸組構法または枠組壁工法（ツーバイフォー）の住宅が対象です。

- 震度5強以上のゆれを受けた
- 大きな被害<sup>※2</sup>はない
- ※2 家全体が傾く、柱が折れる、外壁が外れるなど
- 平屋、2階建て、3階建てのいずれか
- 1981年（昭和56年）6月以降に建てた



国土交通省

## 1

## 敷地や住まいの状況を確認します

- ①敷地内に液状化や  
ひび割れがある  
 はい  いいえ



液状化で砂がふき出した例

- ②床をもの※3が転がる  
 はい  いいえ

※3 野球・硬式テニスのボール、  
サッカーボール等



- ③窓の開閉がしづらくなった  
 はい  いいえ



## 結果

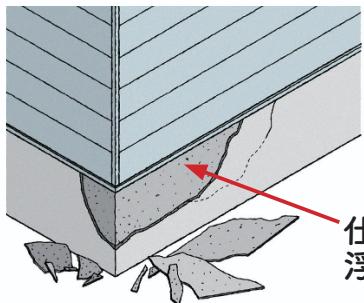
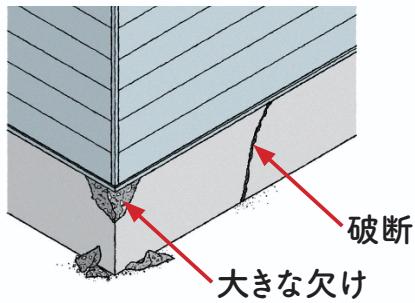
すべて「いいえ」 → チェック 2 へ進みます

ひとつでも「はい」 → 4ページ 判定B へ

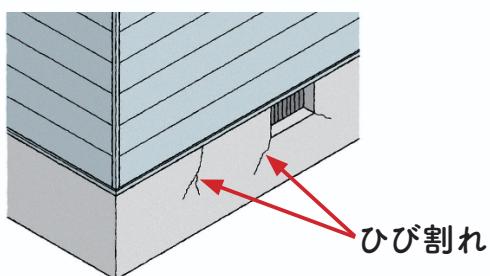
## 2

## 基礎の状況を確認します

- ①基礎に大きな損傷がある  
 はい  いいえ



- ②基礎にひび割れ※4がある  
 はい  いいえ



※4 幅0.3mm以上が  
目安です。(厚手  
のはがき・ポストカ  
ード・名刺の厚み)



## 結果

すべて「いいえ」 → チェック 3 へ進みます

ひとつでも「はい」 → 4ページ 判定B へ

## 内壁と外壁で最も損傷している部分の状況を確認します

内壁（該当する仕上げが表にない場合は、欄外の※5を参照してください）

仕上げ	損傷の程度		
Ⓐ 壁紙 (クロス)	<input type="checkbox"/> Ⓐ <input type="checkbox"/> Ⓑ 目立つ 損傷が ない	<input type="checkbox"/> Ⓐ <input type="checkbox"/> Ⓑ 損傷が比較的小さい	<input type="checkbox"/> Ⓐ <input type="checkbox"/> Ⓑ 損傷が比較的大きい
Ⓑ 塗り壁 (しっくい・ジラク等)	<input type="checkbox"/> Ⓐ <input type="checkbox"/> Ⓑ 目立つ 損傷が ない	<input type="checkbox"/> Ⓐ <input type="checkbox"/> Ⓑ 損傷が比較的小さい	<input type="checkbox"/> Ⓐ <input type="checkbox"/> Ⓑ 損傷が比較的大きい

外壁（該当する仕上げが表にない場合は、欄外の※5を参照してください）

仕上げ	損傷の程度		
Ⓒ サイディング (横張り)	<input type="checkbox"/> Ⓐ <input type="checkbox"/> Ⓑ 目立つ 損傷が ない	<input type="checkbox"/> Ⓐ <input type="checkbox"/> Ⓑ 損傷が比較的小さい	<input type="checkbox"/> Ⓐ <input type="checkbox"/> Ⓑ 損傷が比較的大きい
Ⓓ 塗り壁 (モルタル等)	<input type="checkbox"/> Ⓐ <input type="checkbox"/> Ⓑ 目立つ 損傷が ない	<input type="checkbox"/> Ⓐ <input type="checkbox"/> Ⓑ 損傷が比較的小さい	<input type="checkbox"/> Ⓐ <input type="checkbox"/> Ⓑ 損傷が比較的大きい

結果

□ⒶまたはⒷのみ → チェック 4 へ進みます

□ひとつでもⒶがある → 4ページ 判定B へ

※5 Ⓐ～Ⓓの仕上げに該当するものがひとつでもあれば、その損傷の程度で結果を判断します。  
Ⓐ～Ⓓの仕上げに該当するものがひとつもない場合、4ページ 判定B へ

## 4

## お住まいの地域の震度を確認します

チェック4は、チェック3の結果が「①またはのみ」の場合に行います。

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱

判定A

- 震度5強

すべて① **チェック3** の結果 がある

判定A

判定B

## 総合判定

判定A

このまま住み続けて  
大丈夫です。

ただし、瓦屋根など被害を受けた部分  
は補修しましょう。

判定B

お住まいの市町村や  
専門家へご相談ください。

あなたの住まいは地震により耐震性が  
低下している可能性があります。

## 参考情報

▼お住まいの地域の  
専門家を知りたいとき  
⇒被災度区分判定・復旧  
技術事務所名簿



▼お住まいの地域の震度を  
知りたいとき  
⇒日本建築防災協会



▼液状化について  
詳しく知りたいとき  
⇒日本建築防災協会  
液状化の関連サイト



▼被災度区分判定について  
詳しく知りたいとき  
⇒日本建築防災協会  
被災度区分判定とは



住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

建築年 \_\_\_\_\_